

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

636-548

事務事業名	天竜川総合学習館管理運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	建設管理課		包含する細々目	1	8	3	1	12	1	7,314
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
施策	54 自然とのふれあいと環境学習の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間	14	年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内小中学生 全市民	講座参加者(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度 以前に終了 は終了年 度とする	
			2500			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	小中学生が講座に参加して、川や自然の学習をせよ。市民等が施設を利用し、川についての理解を深めようとするに、生涯学習の一貫として環境学習等の講座にも積極的に参加せよ。	講座開催数(回)	18目標	90	最終目標	
			18実績	107	19目標	100
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	天竜川治水対策事業の整備にあわせて、河川防災拠点施設とともに、天竜川などの河川環境や自然環境学習の場として建設されている天竜川総合学習館の施設管理及び学習講座の企画運営を行う事業である。 天竜川の災害や自然環境の展示や企画展示をおこない一般観覧者に対応すると共に、週1~2回の講座開催による環境等の学習の推進や、小中学校などの総合学習の場としても積極的に活用していただき、河川やこの地域の自然歴史などの題材にした生涯学習の推進を図る事業である。	天竜川環境整備公社へ運営委託して、川や自然に関係する講座を開催。年間90回。H18年度より小学校保育園等の団体を対象とした特別講座を実施。年間39回。開館5年目を迎え、大勢の参加者が一同に会するかわらんべ祭りを実施。 総合学習の拠点として、小中学校への施設案内PRや、大人のための学級講座を検討実施。 かわらんべ研究員などの学習発表機会を設定。 季節にあう企画展示の実施。	講座開催数(回)	107
		18年度までの活動を継続発展させる。	講座開催数(回)	100

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	7,285	7,314
事業費計(A)	7,285	7,314	
人件費	正規職員所要時間	18年度 180	19年度 250
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	644	894
	トータルコストA+B	7,929	8,208

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	自然とのふれあいや、環境学習から環境意識が向上する	環境学習会に参加したことの市民の割合	現状値	22.8	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	30
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
H14.7月の天竜川総合学習館開館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の環境に対する意識の向上</li> <li>・協力員(ボランティアスタッフ)の発足</li> <li>・開館5年目を迎えたH18年度からかわらんべ祭りを実施</li> <li>・天竜川上流河川事務所を中心とした関係団体による周辺整備(かわらんべイの設置、水辺の楽校の改修など)</li> </ul>	かわらんべ祭りのアンケート結果からもかわらんべに対する期待度は大きい

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			効率性 評価		
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	